



令和7年、2学期の終了を控えて… 「進歩とは反省の厳しさに正比例する」

あと4日ほどで2学期が終了します。2学期は3つの学期の中で最も長い学期です。学校では文化祭など大きな行事がありました。また学校以外でも生徒のみなさんにとってそれぞれに大事な出来事や取組があり、一人ひとりの成長につながる学期になったのではないのでしょうか。2学期を振り返り、とても充実していたと感じている人は、その充実感につながったできごとをしっかりと心に刻んでおきましょう。

生徒の皆さんは、(2・3年生の皆さんには、昨年末にも言いましたが)令和7年が終わるにあたり、できればご家族のみなさんと一緒に、今年1年や2学期の取組を振り返ってみてください。いろいろなことが思い出されることでしょう。授業や行事、部活動、そして学校以外での取り組みや活動など。それらを通して、新たな知識、主体性や協調性、思いやりの心や最後までやり遂げる力など、さまざまな力や心が育ったことと思います。一人ひとりの思いや成果は異なるかもしれませんが、自己をしっかりと見つめ、成長した自分に自信をもつとともに、目標に向かって頑張り通した自分をほめて欲しいと思います。そして、そのような取組から得られた力を基に、さらに、新しい目標に向かって一步一步成長していってくれることを願っています。

また、一方で、次の新たな自分につなげる意味でも、自分自身の反省点としっかり向き合うことが大切です。そして、どうすればよくなるのか考え、できそうなことからコツコツと改善していきましょう。これからの取組をしっかり続けることが大事です。新しい年を迎えるにあたって、今年のことはいまのうちにきちんと整えて、すっきりとした気持ちで冬休みをすごしてください。

大切なことは、結果だけではなく、「やろうとした努力を続けることができたか」「どんな努力が自分を向上させたか」「次の目標は何か、どんなことをどこまでやろうと思うのか」ということを生徒の皆さん自身が自覚し、次の行動に移していくことだと思います。

「進歩とは反省の厳しさに正比例する」このタイトルの言葉は、本田技研工業の創業者である本田宗一郎さんの言葉です。人間は誰でもミスや失敗をするものです。それをくり返さないように反省した分、必ず成長できます。反省と後悔は全く違うものです。立ち止まって反省してまた歩き出すとき、確実に前に進むことができるのです。

保護者の皆さま、地域の皆さま、2学期の教育活動にたいへんご理解、ご協力をいただきありがとうございました。3学期もどうぞよろしくお願いいたします。また、この冬休み中も、生徒の健康・安全面をはじめ、学習や生活の様子について、引き続きご指導、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。